

取組(案)のフォローアップの概要

| 項目、事項、内容 | 課題の対応 | 目標時期 | 取組機関 | フォローアップ概要 |
|--|----------|--------------------|---|---|
| 1. ハード対策 | | | | |
| ■洪水氾濫を未然に防ぐ対策 | | | | |
| 堤防整備 河道掘削 ※北海道緊急治水対策プロジェクト | ㉔ | ～平成32年度 | 十勝総合振興局 帯広開発建設部 | 国・北海道：堤防整備、河道掘削等を順次実施(継続) |
| ■危機管理型ハード対策 | | | | |
| 堤防天端の保護 堤防法瓦の補強 | ㉕ | ～平成32年度 | 十勝総合振興局 帯広開発建設部 | 国・北海道：天端舗装や法瓦補強等の施設整備を順次実施(継続) |
| 危機管理型水位計の設置 | ⑧ | ～平成32年度 ～平成30年度 | 十勝総合振興局 帯広開発建設部 | 国：平成30年度に60箇所設置予定 北海道：平成30年度に16箇所設置予定(継続) |
| ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 | | | | |
| 住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築 | ⑥⑧ | 平成28年度から 実施 | 十勝総合振興局 帯広開発建設部 NHK | 国：水文情報やCCTV画像の公開(継続) 北海道：中小河川を対象として水位計の設置(継続) NHK：ニュース、防災アプリ等にて防災情報の提供(継続) |
| 洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築 | ⑥ | 平成29年度 | 帯広開発建設部 NHK | 国：平成30年5月から、すべての洪水予報河川において配信を開始 NHK：ニュース、防災アプリ等にて防災情報の提供(継続) |
| 防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備 | ⑥⑩ | 平成29年度～ | 10町村 十勝総合振興局 | 市町村：防災無線のデジタル化、設置箇所の拡大、戸別受信機の配布、広報車スピーカーの性能向上を実施 |
| 樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備 | ㉑ | ～平成32年度 | 十勝総合振興局 帯広開発建設部 | 国：優先的に整備する施設について、順次整備を実施(継続) 北海道：樋門樋管等の新設、改築時に、順次整備を実施(継続) |
| 下流河川の安全に資するための、操作規則の見直し・運用 | ⑨⑩ | 平成29年度～ | 電源開発(株) | 電源開発：平成29年度に策定した様平ダム暫定運用の実施及び検証 |
| 2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組 | | | | |
| ■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 | | | | |
| 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション(浸水ナビ)、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表 | ⑦ | 平成29年度から 平成28年度 | 十勝総合振興局 帯広開発建設部 | 国：平成29年度までに全ての洪水予報河川及び水位周知河川において公表 北海道：順次、想定最大規模の浸水測定区域図を作成、公表(継続) -その他の河川について、洪水氾濫危険区域図を作成し、情報提供を行う(継続) |
| 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知 | ⑦ | 平成29年度から 実施 | 17市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 | 国、北海道：市町村への作成支援を実施(継続) 市町村：6町村において、作成及び周知を実施し、平成30年度に6町において、作成及び周知予定(継続) |
| 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまごまちこハザードマップの整備と周知 | ⑦ | 平成29年度から 実施 | 17市町村 帯広開発建設部 | 国：市町村への作成支援を実施(継続) 市町村：平成30年度に1町において、整備予定(継続) |
| 各構成員が既に保有する浸水実績等に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知 | ①③ | 平成29年度から 実施 | 8市町 十勝総合振興局 帯広開発建設部 | 国、北海道：浸水実績に関する情報を市町村と共有(継続) 市町村：平成29年度に1町において、過去に被害を受けた河川を防災マップに記載(継続) |
| 避難勧告に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を含めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施 | ④⑧⑩ | 平成28年度から 実施 | 17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 | 国：関係機関と連携して、実際の出水時における防災行動を踏まえた精度向上を実施(継続) 北海道：避難勧告に着目した防災行動計画(タイムライン)について、市町村と連携して作成(継続) 市町村：順次、道管理河川におけるタイムラインを作成予定。また、避難訓練の実施、関係機関と連携した精度向上に参画(継続) |
| 各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施 | ⑥⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ | 平成30年度から 実施 | 19市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防、NHK JR、北海道電力(株)、電源開発(株) | 各機関：関係機関と連携した情報伝達訓練を実施(継続) |
| 十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施 | ①③ | 平成28年度から 実施 | 16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 | 国：関係機関と連携し、選定したモデル校において、防災教育の支援を実施し、教育素材等を共有予定(継続) 市町村：防災講座、研修会、チラシ等により防災教育等を実施(継続) |
| 地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進 | ② | 平成28年度から 実施 | 18市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防 | 国、北海道：河川協力団体等と連携し高校生への防災教育や避難誘導に資する情報提供システムの周知を実施(継続) 市町村：自主防災組織の活動や設立の支援、住民参加型の防災セミナー等の実施(継続) |
| 関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催 | ①③ | 平成28年度から 実施 | 18市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株) | 各機関：水防災に関する講習会の開催を実施(継続) |
| 住民の水防災意識再構築のため、広報誌や各機関のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実 | ①③ | 平成28年度から 実施 | 16市町村 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株) | 各機関：広報誌やホームページを通じ、広報の充実を図る(継続) |
| 利水ダムの状況をリアルタイムで共有及びダムからの様々な放流量でも臨機に対応できるよう洪水予測システムの改良を実施し、関係機関へ周知 | ⑨ | 平成28年度から 実施 | 十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株) | 国・北海道：警戒体制に入った場合に、下流関係者へ連絡を実施(継続) 国：平成30年度にダムからの放流量等も踏まえた洪水予測が可能になるようにシステムを改良予定 国・電源開発：川の防災情報において、利水ダム(電源開発)の状況をリアルタイムで提供(継続) |

取組(案)のフォローアップの概要

| 項目、事項、内容 | 課題の対応 | 目標時期 | 取組機関 | フォローアップ概要 |
|--|---------------|------------|--|---|
| 3. 人的被害をなくすため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を共有する取組 | | | | |
| ■情報伝達、避難計画等に関する事項 | | | | |
| 洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築) | ⑧⑬⑮ | 平成28年度から実施 | 十勝総合振興局 帯広開発建設部 | 国・北海道:既に構築しているホットラインを活用し、洪水時における情報提供を実施(継続) |
| 越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報伝文への改良を行う | ⑬ | 平成28年度 | 釧路地方気象台 帯広開発建設部 | 国:釧路地方気象台:洪水予報文の改良を実施済 |
| 危機管理型水位計による危険箇所における水位情報の提供 | ⑧⑬⑭⑮ | 平成30年度から実施 | 十勝総合振興局 帯広開発建設部 | 国:平成30年度に60箇所設置し、水位情報を提供予定(継続) 北海道:平成30年度に16箇所設置し、水位情報を提供予定(継続) |
| 住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供 | ⑥ | 平成28年度から実施 | 8市町村 帯広開発建設部 NHK | 国:水文情報やCCTV画像の公開(継続) 市町村:Facebook、緊急速報メール、地元FMラジオ局等を活用した情報提供(継続) NHK:ニュース、防災アプリ等にて防災情報の提供(継続) |
| 洪水予報、避難勧告等をプッシュ型で情報発信 | ⑥ | 平成28年度から実施 | 17市町村 帯広開発建設部 NHK | 国:洪水予報河川において、洪水予報をプッシュ型で情報発信(継続) 市町村:避難情報を緊急速報メールにて情報発信を実施(継続) NHK:ニュース、防災アプリ等にて防災情報の提供(継続) |
| 市町村水防計画及び避難勧告等の判断・伝達計画の作成 | ⑤⑧⑪⑫⑬⑭⑮⑯ | 平成28年度から実施 | 19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防 | 国:釧路地方気象台・北海道:市町村への作成支援を実施(継続) 市町村:市町村水防計画及び避難勧告等の判断・伝達計画の作成及び見直し(継続) 警察:計画作成に必要な助言と協力を実施(継続) 消防:大規模災害時の活動計画、マニュアル等の作成(継続) |
| 気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善 | ⑥ | 平成29年度から実施 | 釧路地方気象台 電源開発(株) | 釧路地方気象台:平成29年度から報級の現象になる可能性及び危険度を色分けした時系列及び大雨警報(浸水害)の危険度分布及び洪水警報の危険度分布を提供(継続) 電源開発:発信文の表現等の見直しを行い、関係自治体と検討(継続) |
| 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し | ②⑧ | 平成28年度から実施 | 18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 | 国・北海道:市町村への支援を実施(継続) 市町村:6町村において、避難場所等の見直しを実施(継続) |
| 避難行動要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進 | ② | 平成28年度から実施 | 17市町村、十勝総合振興局 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察 | 国:関係機関と連携し、避難確保計画作成を促進させるための講習会を実施予定 釧路地方気象台:関係機関と連携し、説明会を実施 北海道・警察:市町村への支援を実施(継続) 市町村:各施設への作成呼びかけを行うなど、取組を促進(継続) |
| 円滑な避難・避難後の復旧のため、道路管理者との連携 | ③④⑤⑥ | 平成28年度から実施 | 18市町村、十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防、電源開発(株) | 道路管理者との連携を実施(継続) |
| 4. 長期間かつ広範囲におよぶ浸水による社会経済被害を軽減する水防・復旧活動の取組 | | | | |
| ■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項 | | | | |
| (新たな重要水防箇所評定基準に基づき)毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施 | ⑨ | 引き続き定期的に実施 | 18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 | 国・北海道:整備状況を踏まえて、重要水防箇所の見直しを実施(継続) 国・北海道・市町村:水害リスクの高い箇所の共同点検を実施(継続) |
| 迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施 | ⑪ | 平成28年度から実施 | 18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 | 各機関:水防資機材の充実及び連携体制の構築(継続) |
| 関係機関が連携した水防訓練を継続実施 | ⑫ | 引き続き定期的に実施 | 19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 | 各機関:水防訓練の実施及び参加(継続) |
| 水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施 | ⑥⑨⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒ | 引き続き定期的に実施 | 19市町村、十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防、NHK JR、北海道電力(株)、電源開発(株) | 各機関:連絡体制の再確認及び情報伝達訓練の実施及び参加(継続) |
| 市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進 | ⑫ | 平成28年度から実施 | 18市町村 | 市町村:広報誌やホームページ等を活用し、団員の募集を実施(継続) |
| 自主防災組織の育成 | ② | 平成28年度から実施 | 18市町村 帯広開発建設部 北海道電力(株) | 国:市町村への支援を実施(継続) 市町村:防災講座や説明会の開催、財政的支援等により、自主防災組織の活動や設立を支援(継続) 北海道電力:ダム、発電所の事故(油流出、緊急放流)を想定した河川バール訓練を実施 |
| 被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施 | ⑫ | 平成30年度から実施 | 19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防 | 各機関:被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施(継続) |
| ■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組 | | | | |
| 訓練を通じ、排水ポンプ等の災対車の出動要請及び自衛隊災害派遣ほか災害出動に係る関係機関との調整方法について確認 | ⑨ | 平成28年度から実施 | 18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防 | 国:災対車の出動要請の調整方法等について確認するとともに、操作訓練を実施(継続) 北海道:市町村からの要請に応じ、自衛隊災害派遣要請等に係る活動内容及び場所等の調整を実施(継続) 市町村:関係機関と共同して、体制を確認(継続) |
| 関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水計画を作成 | ⑬⑲ | 平成30年度から実施 | 18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 | 国:関係機関と連携して、平成30年度に代表箇所における排水計画を作成予定(継続) 市町村:関係機関と共同して、排水計画を作成(継続) |
| 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の前水化を促進 | ⑲ | 平成28年度から実施 | 6町 | 市町村:施設耐水化を検討(継続) |
| 水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができる体制の強化を推進 | ⑲ | 平成28年度から実施 | 帯広開発建設部 | 国:施設の点検整備体制の強化を実施。浸水被害のあった施設の内外水位リアルタイム状況を共有できるシステムを構築(継続) |
| ■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項 | | | | |
| 浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、変電所、大規模工場、JR等)に対するリスクの事前説明、適切な情報提供 | ④⑤⑥ | 平成28年度から実施 | 17市町村 帯広開発建設部 | 国:各施設等へのリスク説明、情報提供を実施(継続) 市町村:拠点施設を選定し、説明会等により情報提供(継続) |

事例紹介